



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	35,824	1.2	1,275	△18.3	1,730	△7.0	△378	—
29年3月期第2四半期	35,402	△2.1	1,561	86.7	1,860	53.5	1,478	73.7

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △1,409百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △2,293百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△3.60	—
29年3月期第2四半期	14.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	105,893	56,727	53.5
29年3月期	107,613	58,403	54.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 56,667百万円 29年3月期 58,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
30年3月期	—	2.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	1.8	1,700	18.6	2,200	17.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	111,452,494株	29年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	6,501,817株	29年3月期	6,497,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	104,953,184株	29年3月期2Q	104,964,823株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費も持ち直しており、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国を始めとする新興国の景気の先行きや政策に関する不確実性による影響等があり、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは当連結会計年度より3カ年の新中期経営計画をスタートさせました。「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」というビジョンを継承し、この3カ年で集大成とすべく、「グループ総合力の深化」と「研究開発の推進」という全体戦略、「パッケージング事業の収益力強化」と「ニューガラス事業の拡大」という事業戦略の下、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでいく所存であります。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業のセグメント売上高は、国内ガラスびん業界全体の出荷量減少の影響はありましたが、秦皇島方圓包装玻璃有限公司(Yamamura Glass Qinhuangdao 以下、「YGQ」という。)のガラスびん販売や当社エンジニアリングカンパニーで海外向け売上が増加したことにより25,272百万円(前年同期比1.6%増)と増収となりました。増収による増益効果や当社ガラスびんカンパニーの修繕費等の費用減はありましたが、国内燃料価格の上昇や販売の品種構成による利益率低下等により、セグメント利益は608百万円(前年同期比27.2%減)と減益となりました。

② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、当社プラスチックカンパニーにおいて、前年5月に販売を開始したディープグリップボトル(把手とボトルが一体成型された大容量4.0Lペットボトル)が安定的に推移したこともあり、セグメント売上高は3,303百万円(前年同期比1.9%増)の増収となりました。セグメント利益は、減価償却費等の固定費増加がありましたが、増収による増益効果等により404百万円(前年同期比1.2%増)と増益となりました。

③ 物流関連事業

物流関連事業では、新規事業の立ち上げ等により、セグメント売上高は5,160百万円(前年同期比7.8%増)と増収となりました。セグメント利益は、作業効率の改善やさらなるコスト削減に努めましたが、人材確保のための労務費増等があり、△16百万円(前年同期は7百万円)と減益となりました。

④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、当社ニューガラスカンパニーの電子部品用ガラス、自動車部品用ガラスの出荷は堅調に推移しましたが、山村フォトニクス株式会社の主力製品である光通信用キャップ部品の出荷が減少したためセグメント売上高は2,087百万円(前年同期比16.5%減)と減収となりました。セグメント利益は、製造経費の削減に努めましたが、売上減少による損益悪化の影響が大きく、160百万円(前年同期比26.4%減)と減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は35,824百万円(前年同期比1.2%増)と増収となりました。連結営業利益は1,275百万円(前年同期比18.3%減)と減益となり、持分法による投資利益は642百万円(前年同期比3.8%増)となりましたが、連結経常利益は1,730百万円(前年同期比7.0%減)と減益となりました。さらに特別損失にYGQに係るのれんの一時償却を行ったことによるのれん償却額1,465百万円や支払補償金278百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は△378百万円(前年同期は1,478百万円)と損失となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期における通期の業績予想につきましては、当第2四半期までの状況およびその後の経営環境等を勘案して、平成29年5月11日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成29年11月9日)公表の「平成30年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,374	14,108
受取手形及び売掛金	19,959	21,381
商品及び製品	6,680	6,696
仕掛品	380	286
原材料及び貯蔵品	2,873	2,953
その他	1,686	1,340
貸倒引当金	△85	△84
流動資産合計	45,869	46,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,301	8,038
機械装置及び運搬具（純額）	11,830	11,399
工具、器具及び備品（純額）	764	712
土地	10,333	10,333
建設仮勘定	420	622
有形固定資産合計	31,651	31,106
無形固定資産		
のれん	1,569	—
その他	1,693	1,654
無形固定資産合計	3,263	1,654
投資その他の資産		
投資有価証券	4,805	4,783
関係会社株式	20,493	20,193
退職給付に係る資産	1,013	955
その他	543	544
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	26,828	26,450
固定資産合計	61,743	59,211
資産合計	107,613	105,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,962	8,827
短期借入金	10,335	9,325
1年内償還予定の社債	100	100
未払法人税等	762	457
賞与引当金	617	650
役員賞与引当金	15	15
その他	5,911	4,081
流動負債合計	25,705	23,457
固定負債		
社債	1,700	1,650
長期借入金	15,032	17,555
リース債務	1,222	1,032
環境対策引当金	38	36
退職給付に係る負債	3,138	3,169
繰延税金負債	1,670	1,629
その他	701	635
固定負債合計	23,504	25,709
負債合計	49,209	49,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,697	16,697
利益剰余金	28,528	27,888
自己株式	△1,232	△1,233
株主資本合計	58,068	57,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,794	1,773
繰延ヘッジ損益	△75	△25
為替換算調整勘定	△709	△1,848
退職給付に係る調整累計額	△732	△658
その他の包括利益累計額合計	276	△759
非支配株主持分	58	59
純資産合計	58,403	56,727
負債純資産合計	107,613	105,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	35,402	35,824
売上原価	27,858	28,478
売上総利益	7,543	7,345
販売費及び一般管理費	5,982	6,070
営業利益	1,561	1,275
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	66	54
持分法による投資利益	618	642
その他	334	241
営業外収益合計	1,021	941
営業外費用		
支払利息	232	246
租税公課	202	58
その他	286	180
営業外費用合計	722	485
経常利益	1,860	1,730
特別利益		
固定資産売却益	6	8
特別利益合計	6	8
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産廃棄損	6	17
のれん償却額	—	1,465
支払補償金	—	278
特別損失合計	6	1,763
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,860	△24
法人税、住民税及び事業税	536	387
法人税等調整額	△150	△36
法人税等合計	386	351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,473	△375
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,478	△378

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,473	△375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	△18
繰延ヘッジ損益	52	50
為替換算調整勘定	△931	△129
退職給付に係る調整額	14	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,975	△942
その他の包括利益合計	△3,767	△1,034
四半期包括利益	△2,293	△1,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,226	△1,413
非支配株主に係る四半期包括利益	△67	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,860	△24
減価償却費	1,893	2,052
のれん償却額	69	1,532
売上債権の増減額(△は増加)	△1,306	△1,489
仕入債務の増減額(△は減少)	△457	839
その他	△273	△346
小計	1,785	2,563
利息及び配当金の受取額	74	56
利息の支払額	△212	△203
法人税等の支払額	△367	△593
法人税等の還付額	2	25
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,282	1,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,519	—
有形固定資産の取得による支出	△3,162	△2,654
その他	19	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,661	△2,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,046	2,362
長期借入れによる収入	5,037	800
長期借入金の返済による支出	△1,202	△1,573
セール・アンド・リースバックによる収入	1,136	—
配当金の支払額	△262	△262
その他	△385	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,277	609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△133	△54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,235	△266
現金及び現金同等物の期首残高	12,217	12,083
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,002	11,817

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2 四半期連結累計期間 (自平成28年 4 月 1 日 至平成28年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,871	3,243	4,787	2,500	35,402	—	35,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	251	5,200	3	5,457	△5,457	—
計	24,872	3,494	9,987	2,504	40,859	△5,457	35,402
セグメント利益	836	400	7	217	1,461	99	1,561

(注) 1. セグメント利益の調整額99百万円には、セグメント間取引消去等65百万円、その他の調整34百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性がないため記載を省略しております。

II 当第2 四半期連結累計期間 (自平成29年 4 月 1 日 至平成29年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,272	3,303	5,160	2,087	35,824	—	35,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	253	5,347	3	5,605	△5,605	—
計	25,275	3,556	10,507	2,090	41,430	△5,605	35,824
セグメント利益 又は損失 (△)	608	404	△16	160	1,157	117	1,275

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額117百万円には、セグメント間取引消去等47百万円、その他の調整70百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

「ガラスびん関連事業」セグメントにおいて、個別財務諸表で関係会社株式評価損を計上したことにより、のれんの一部償却を行い、特別損失に計上しております。

当該事象によるのれんの減少額は、当第2 四半期連結累計期間においては、1,465百万円であります。